

発注企業動向調査結果

-2024.12-

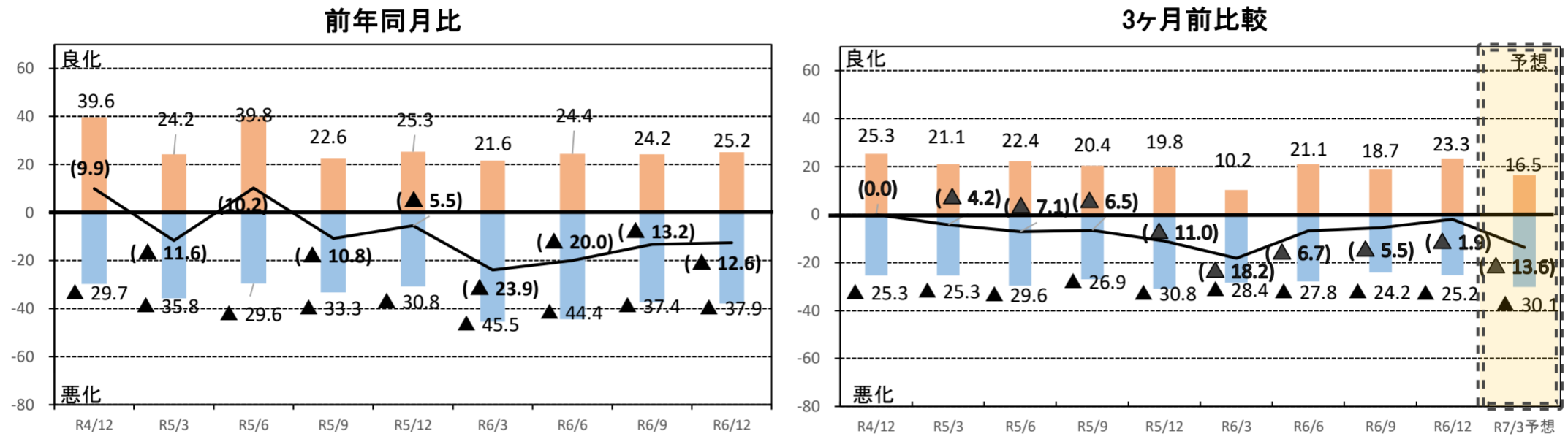
- 調査時点 令和6年12月調査(令和6年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 103社(回答率:68.67%)

<業種内訳>

プラスチック	10社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	10社
一般機械器具	15社
電気機器	25社
輸送用機器	22社
精密機器	4社
縫製	5社
計	103社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

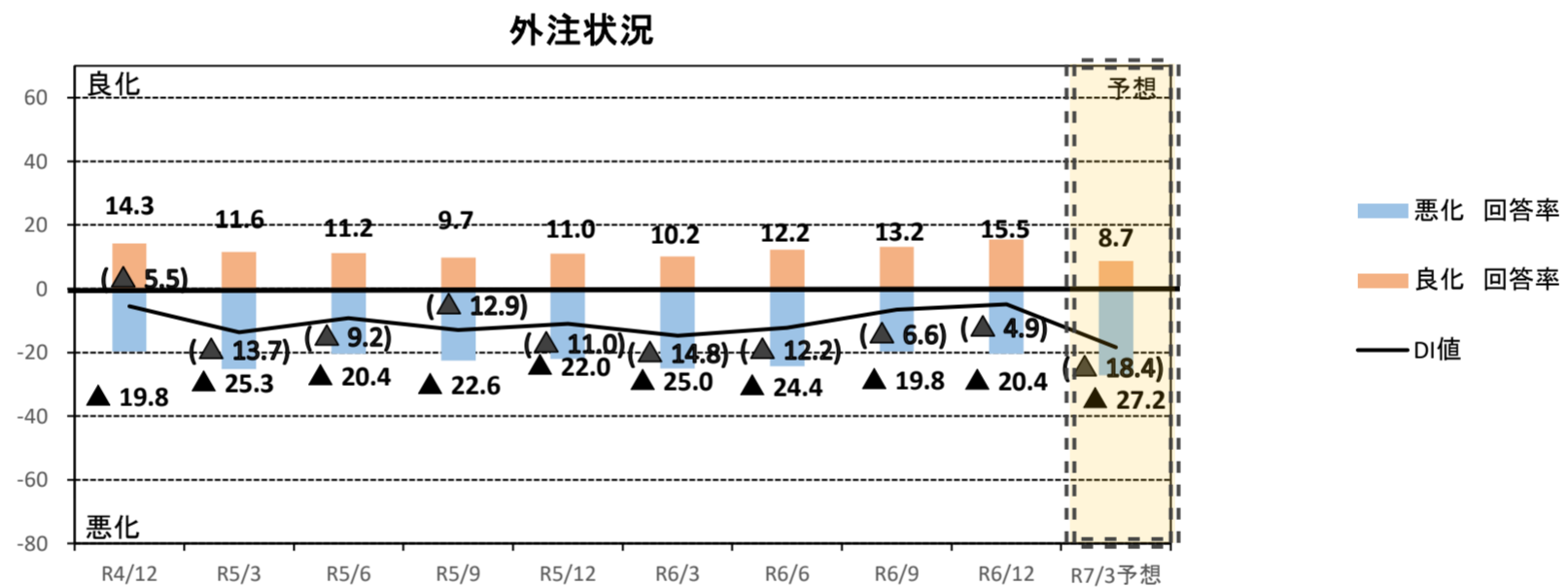
●生産高



	R4/12	R5/3	R5/6	R5/9	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3予想
前年同月比	9.9	▲11.6	10.2	▲10.8	▲5.5	▲23.9	▲20.0	▲13.2	▲12.6	
3ヶ月前比較	0.0	▲4.2	▲7.1	▲6.5	▲11.0	▲18.2	▲6.7	▲5.5	▲1.9	▲13.6

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●外注状況



	R4/12	R5/3	R5/6	R5/9	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3予想
外注状況	▲5.5	▲13.7	▲9.2	▲12.9	▲11.0	▲14.8	▲12.2	▲6.6	▲4.9	▲18.4

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲12.6で、前回の▲13.2から0.6ポイント増となった。
 - ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲1.9で、前回の▲5.5から3.6ポイント増となった。
 - ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲4.9で、前回の▲6.6から1.7ポイント増となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲13.6、外注状況が▲18.4という予想になった。
 - ・その他自由意見として、
 - ・国内アパレルは非常に厳しい状況が続いており先行きも大規模工場ほど苦しい状況になっていくと思う。小規模で対応力の高い受注を高めるようなやり方で進めていきたい。
 - ・少し先の見通しが減少傾向である。
 - ・年度末に向けて受注減少傾向である。
 - ・受注は増えず低空飛行のままである。
 - ・①2025年度は全体的に受注減、②2025年度海外案件が思ったほど戻ってこない、③車載関係・遊戯関係が2025年特に厳しい、④通信関係が全般的に厳しい(特に25年第二四半期以降)
 - ・一時的に増加しても傾向としては減少傾向。業界的にも回復するのは夏から秋と考えている。
 - ・現状水準で推移。
 - ・トラック関係部品の生産高減少が続いている。
- という意見が寄せられた。